<u>の欄を設計者が記入のこと</u>	
八幡を設計者か記人())して	

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者氏名	
評価者氏名	ハウスプラス住宅保証株式会社

- <u>j</u>	必須項目 -					
	性能表示	確認項目		設計内容説明欄		設計内容
	事項		項目	設計内容	記載図書	確認欄
一 荷 造	1-1	検証方法	地震力及び	壁量計算(仕様規定) 注)詳細は各計算書による	壁量計算書	
の	耐震等級		風圧力に関す	許容応力度等計算	構造計算書	
安	(倒壊等防止)		る検証	限界耐力計算		
定	1-2	 耐力壁	ᅉᄿᄓᆉᆉᇠ	その他() ナ : : : : : : : : : : : : : : : : : :	#*生/上回	
関	1-2 耐震等級	剛刀壁	筋かい耐力壁	・種類 () 寸法 () 寸法 () ・種類 () 寸法 ()	構造伏図 計算書	
す	別展守級 (損傷防止)		 木摺耐力壁	· 種類 (和异音 矩計図	
る	選択する		小拍响力型	· 間隔 (仕上表	
ت ک	医1/(9.9)		 面材耐力壁	· 種類 (大臣認定書	
٦	1-3		≖ درزانا زیابت	・面材厚さ (mm) 倍率 ()	大臣認定書別添	
	その他			· 〈ぎ種類 () 〈ぎ間隔 (mm)		
		準耐力壁	木摺準耐力壁	· 種類 () 寸法 ()	構造伏図	
	1-4	等	等	・間隔 ()	計算書	
	耐風等級		面材準耐力壁	· 種類 ())))	矩計図	
	選択する		等	・材厚さ (mm)	仕上表	
				·〈ぎ種類 () 〈ぎ間隔 (mm)		
	1-5	床組等	火打ち構面	・種類 (<u> </u>	構造伏図	
	耐積雪等級			· 隅長 (mm) 取合梁背 (mm)	計算書	
	選択する			・火打ち構面の位置(矩計図	
			2階床面	· 面材の種類 ()	仕上表	
				・根太間隔 (mm) 工法 (mm) 工法 (mm) 工法 (mm) 工法 (mm) (mm	試験成績書等	
			2 7th c	·〈ぎ種類 (mm) mm)		
			3階床面	・面材の種類 (mm) 工法 ()		
				・根太間隔(mm) 工法 (mm) ・〈ぎ種類 (mm) ・〈ぎ間隔 (mm)		
			小屋床面	· 面材の種類 () 、CIBING())		
			小主水田	·根太間隔(mm)工法()		
				· 〈ぎ種類 () 〈ぎ間隔 (mm)		
		屋根面	屋根勾配	· 勾配 ()	構造伏図	
			屋根面	· 面材の種類 ()	計算書	
				· 垂木間隔 (mm) 工法 (矩計図	
				·〈ぎ種類 () 〈ぎ間隔 (mm)	仕上表	
		接合部	筋かい端部の	・接合部の仕様(具体の名称を記入)	構造伏図	
			接合部	(計算書	
			15.51- 15		矩計図	
			柱脚・柱頭の	・柱頭・柱脚の接合部の検証方法	仕上表	
			接合部	平成12年建設省告示第1460号(仕様規定)	金物認定書	
				N値計算法		
				許容応力度等計算		
			横架材接合部	その他(
			使笨材接言部 (建物外周部)	・ 按口部の1117 (共) (共) (10 (10 (10 (10 (10 (10 (10 (10 (10 (10		
			(포크7071기미리)			
			 胴差と通し柱	・接合部の仕様(具体の名称を記入若しくはブルダウンより選択)		
			の接合部	(
			12 H H			

- 必須項目 - (第2面)

性能表示 設計内容説明欄 設計内容 確認項目 事項 項目 設計内容 記載図書 確認欄 構 1-1 構造躯体 免震建築物 平成12年建設省告示2009号第1第3号による規定 構造計算書 造 耐震等級 免震建築物 矩計図 ത 安定 (倒壊等防止) 計画書 免震建築物でな ・同告示第2の該当する号 配置図 に関 1場合は記載不 1-2 一号(四号建築物として仕様規定に適合) 要です。(自己評 西書1-3は「その 耐震等級 二号(第6号に規定する構造計算 る 他」を選択してくだ (損傷防止) 及び耐久性等関係規定に適合) さい。) 三号(時刻暦応答解析を行い大臣認定を取得、 及び耐久性等関係規定に適合) 1-3 その他 ・免震層、免震材料の維持に関する計画 1-4 免震材料等の維持管理に関する計画 耐風等級 敷地の管理に関する計画 基礎 基礎の形式 布基礎 べた基礎 基礎伏図 1-5 その他(耐積雪等級 寸法及び配筋 スパン表による 構造計算書 等の検証方法 (種類: 構造伏図 許容応力度等計算による 基礎詳細図 その他(矩計図 アンカーボルト ・品質(基礎伏図 ・埋め込み長さ (mm) ·位置·間隔 横架材 寸法及び配置 構造計算書 スパン表による 等の検証方法 (種類: 構造伏図 許容応力度等計算による 軸組図 その他(矩計図 認定書等 種別 型式 認証 特認 認定書 を活用す 認定番号 別添 る場合 1-6 地盤及び 地盤の種類 ・支持地盤の種類 調査報告書 地盤又は杭 許容支持力等 地業 改良検討書 の許容支持 及び設定根拠 自己評価書に同じ 構造計算書 力等及びそ 仕上表 の設定方法 矩計図 1-7 基礎 基礎の構造 構造計算書 基礎の構造 方法及び形式 自己評価書に同じ 構造伏図 方法及び形 仕上表 尤 矩計図 基礎詳細図

(第3面)

- 必須項目 -

	性能表示	確認項目		設計内容説明欄		設計内容
داء	事項		項目	設計内容	記載図書	確認欄
	3-1 少ル対等	外壁の軸 組等		· 外壁の構造 通気構造等 その他 ・柱	仕上表	
の	劣化対策 等級	組守	(地面からの 高さ1m以内)	製材等(樹種)	伏図 矩計図	
軽減	73 MAX			集成材等(種類)	認定書	
に				(樹種) 小径(mm)	施工マニュアル	
に関すること				薬剤処理等 あり((1) なし		
3				・柱以外の軸材・下地材(間柱・筋かい等)		
ے				製材等(樹種)		
				集成材等(種類)		
				薬剤処理等 あり((1) なし		
				・構造用合板等の種類		
				種類 ()		
				(1) なし		
				で【現場 日本木材保存協会(JISK1571附属書Aに定める適用範囲あり)】を		
			選択した場合のみ	以下記載。また、認定書·施工マニュアルの添付もお願いします。 薬剤商品名(薬剤		
				衆別的四名(施工マニュアル(JISK1571附属書Aに定める適用範囲が明示さ		
				れているもの)の適用範囲に則り施工する		
		土台	防腐防蟻処理	・土台に接する外壁下端の水切りありなし	仕上表	
				・土台の樹種 () 薬剤処理等 あり()	矩計図 伏図	
				条別処理寺 めり() なし	NA	
		浴室·	防水上の措置	· 浴室	仕上表	
		脱衣室の		浴室ユニット(JIS-A-4416適合)	平面図	
		防水		防水上有効な仕上げ(その他防腐・防水措置(矩計図	
				・脱衣室 2階以上の階にある場合にあっては下地材含む		
				防水上有効な仕上げ		
				床: (
				壁:(
		地盤	防蟻措置	・防蟻方法 ベた基礎等 その他	仕上表	
		*****		土壌処理 (矩計図	
		基礎高さ	基礎高さ	・地盤面から基礎上端又は地盤面から土台下端までの高さ (mm)	矩計図	
		床下防湿	防湿方式.	· 防湿方法	仕上表	
		換気措置	1757-1175-1	コンクリート (厚さ mm)	矩計図	
				防湿フィルム (厚さ mm)	基礎詳細	
			換気措置	(材料) ・換気措置		
				基礎部開口 (外周部の設置間隔 m)		
				mm)		
				(開口幅 mm)		
				ねこ土台 (有効面積 cm²/m) (高さ cm)		
				基礎断熱工法 (地域区分)		
				(断熱材の熱抵抗 m [*] K/W)	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	
			小屋裏換気	・換気措置	仕上表	
		気		換気口 給気口の位置 排気口の位置 1階 () () () () () () () () () (立面図 矩計図	
				2階 () (屋根伏図	
				3階 () (計算書	
				換気口の面積の天井面積に対する割合 1階 (給)(排)		
				2階 (給)(排)		
				3階 (給)(排		
				<mark>・下屋等</mark> (給)(排)(排) 屋根断熱工法等		
		構造部材	建築基準法へ	産根断熱工法等 建築基準法施行令第37条、第41条、第49条及び第80条の2		
		等	の適合	の規定に適合		
		認定書等		型式認証特認	認定書	
		を活用する。	認定番号		別添	
		る場合				

(第4面)

性能表示 事項 確認項目 項目	記載は様面では、おります。これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、	
# 4-1	仕様書 平遊 基礎詳 と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
#持管理 対策等級 (専用配管) 埋込み配管の 有無	平面図・基礎詳細・仕様書・平面部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
理 対策等級	基礎詳細	
理 対策等級	仕様書 平面図 基礎詳細 れ 仕様書 平面図 設備図	
地中埋設 地中埋設管上	平面図 基礎詳細 れ 仕様書 平面図 設備図	
 新へのの配慮に関すること 推水管の 排水管等の 性状等(水水管 水水管 水水管 水水管 なし あり かける かける かける かける かける かける かける かける かける かける	平面図 基礎詳細 れ 仕様書 平面図 設備図	
 管 のコンクリート 打設 なし あり なし あり なし あり なし あり なし あり かえ管 なし あり を かけ かける かけ かける かける かける かける かける かける かける か	をおける。 本礎詳細 れ は様書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
配慮に関する。こと 排水管の 排水管等の	れ 仕様書 平面図 設備図	
慮に関する。こと 排水管の 排水管等の 性状等(終手及び ヘッダーを 含む) ・ 内面等 ・ 内面の異なる管の接合なし ・ 排水継ぎ手により排水管内面に高低差なし ・ たわみ防止 ・ たわみなし (措置	世 仕様書 平面図 設備図	
条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定めきている地域	世 仕様書 平面図 設備図	
T	世 仕様書 平面図 設備図	
排水管の 排水管等の ・内面等 ・内面等 ・ 内面	平面図 設備図	
こと 性状等(総手及び ペッダーを 含む) 内面、たわみ、 抜け防止 ペッターを 含む) 平滑 (仕様 肉厚の異なる管の接合なし 排水継ぎ手により排水管内面に高低差なし たわみ防止 たわみなし (措置	平面図 設備図	
終手及び 抜け防止 肉厚の異なる管の接合なし 排水継ぎ手により排水管内面に高低差なし たわみ防止 たわみなし (措置 たわみなし (措置 たわみなし)	設備図	
へッダーを 排水継ぎ手により排水管内面に高低差なし 含む) 注)等級2以上は記入 たわみ防止 たわみなし (措置		
たわみなし (措置		
44-1.72l		
抜け防止措置あり (接合形式)		
専用排水排水管の清掃・便所	配置図	
管 措置・掃除口 排水ますに隣接 洋風便器で取り外し可	平面図	
の点検措置 掃除口 (露出 開口 注)等級3のみ記入 · <mark>台所 トラップ 掃除口 (露出 露出 </mark> 露出 露出 露出 開口	矩計図 l) 設備図	
・ その他の部位(
トラップ 掃除口(露出 開		
配管点検主要接合部等・排水管と設備機器の接合部	平面図	
ロ の点検措置 <mark>便所</mark> (露出 開口)	矩計図	
注)等級3のみ記入 台所 (露出 開口)	設備図	
	<mark>系統図</mark>	
<mark>脱衣室</mark> (露出 開口		
<mark>洗濯機</mark> (露出 開口		
(露出 開口)		
・給水管と設備機器の接合部		
<mark>洗濯機</mark> (
(露出 開口)		
・給湯管と設備機器の接合部		
便所 (露出 開口) 開口 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
台所 (露出 開口)		
<mark>洗濯機</mark> (
(露出 開口)	99999 99999 99999	
・給水管のバルブ及びヘッダー		
	93.00 93.00 93.00 93.00	
場所(場所)		
点検方式(
ガス管のバル <mark>ブ及びヘッダー</mark>	111111 111111 111111	
場所 (
点検方式(

- 必須頂日 - (第5面)

通過 地域区分 地域区 地域区分 地域区分 地域区分 地域区分 地域区分 地域区分 地域区 地域区	;	必須項目 -					(第5面
#4日		性能表示	確認項目		設計内容説明欄		設計内容
原族等級 一部の所 一部の	20						確認欄
対策等級	益熱				- :		
機性能等	環						
選択する	児・	対策等級					
)	W(1710.0				
清清	ル	選択する			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	計算書	
設計値	ギー				· · · ·	部位詳細図	
	消			州平 守			
日射熱取得率 おはいいの 日射熱取得率 日射熱取得率 日射熱取得率 日射熱取得率 日射熱取得率 日射熱取者の 日野 日野 日野 日野 日野 日野 日野 日	費						
	に						
	関す			口知然权付击			
適用条件 開口部比率	る						
原内の教育流 平成	こと				·		
本文は断熱材							
の熱抵抗 1, 2に関してはいずれかを (躯体の煞員流 窓マけ断熱材			
1							
(mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m [*] ·K/W) 部位の熱質流率 ² (W/m [*] ·K)				1 21一月月1	屋根()		
大井 (てはいずれかを	()		
天井() ((((部位の熱質流率 2 ((((<t< td=""><td></td><td></td><td></td><td>入力</td><td>-1/M13 -2 /M3/07/2</td><td></td><td></td></t<>				入力	-1/M13 -2 /M3/07/2		
(mm) 断熱材の熱抵抗値 1 (m²·K/W) 部位の熱質流率 2 (W/m²·K) 壁 (TIP I TO MISSION I		
部位の熱質流率 ² (W/m ² ·K) 壁 (\hat{\pi} (
部位の熱質流率 ² (W/m ² ·K) 壁 ((mm) NVT ± 1 ± 0 ± 1 ± 1 (m² · K / M)		
(mm) 断熱材の熱抵抗値 (mř·K/W) が が が が が が が が が が が が が が が が が が が					7 277777 3 3 2 7773 3 7 8 12 3		
(mm) 断熱材の熱抵抗値 1 (mi·K/W) 部位の熱貫流率 2 (W/mi·K)					The management of the second o		
部位の熱費流率 ² (W/m・K) 床 外気に接する部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m・K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W) 部位の熱質流率 ² (W/m・K) ・ 床面積5%以下の外気に接する床規定の適用 あり なし 土間床等の外周部 外気に接する部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W) 部位の熱質流率 ² (W/m・K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W)					= (
部位の熱費流率 ² (W/m・K) 床 外気に接する部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m・K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W) 部位の熱質流率 ² (W/m・K) ・ 床面積5%以下の外気に接する床規定の適用 あり なし 土間床等の外周部 外気に接する部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W) 部位の熱質流率 ² (W/m・K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W)					mm) 账款 tt ① 熬 tt \chi di 1 (m²· K/W)		
床 外気に接する部分 (
外気に接する部分					The interval of the state of th		
(mm) 断熱材の熱抵抗値 「(m²·K/W) 部位の熱貴流率 ² (W/m²·K) その他の部分 (
部位の熱貫流率 ² (W/m・K) その他の部分							
部位の熱貫流率 ² (W/m・K) その他の部分					(mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m [*] ·K/W)		
ての他の部分							
部位の熱貫流率 ² (W/m・K) ・ 床面積5%以下の外気に接する床規定の適用 あり なし 土間床等の外周部 外気に接する部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m・K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W)							
部位の熱貫流率 ² (W/m・K) ・ 床面積5%以下の外気に接する床規定の適用 あり なし 土間床等の外周部 外気に接する部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m・K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W)							
部位の熱貫流率 ² (W/m・K) ・ 床面積5%以下の外気に接する床規定の適用 あり なし 土間床等の外周部 外気に接する部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m・K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m・K/W)					(mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m [*] ·K/W)		
床面積5%以下の外気に接する床規定の適用 本り 土間床等の外周部 外気に接する部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 1 (m²・K/W) 部位の熱貫流率 2 (W/m²・K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 1 (m²・K/W)							
土間床等の外周部 外気に接する部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m²·K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m²·K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m²·K/W)							
土間床等の外周部 外気に接する部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m²·K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m²·K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m²·K/W)					あり なし		
外気に接する部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m [*] ·K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m [*] ·K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m [*] ·K/W)							
(mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m [*] ·K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m [*] ·K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m [*] ·K/W)					* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		
部位の熱貫流率 ² (W/m²·K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m²·K/W)					(
部位の熱貫流率 ² (W/m²·K) その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m²·K/W)					mm) 断埶材の埶抵抗値 ¹ (m²·K/W)		
その他の部分 (mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m [*] ·K/W)					-1/M13 -2 /M3/07/II		
(mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m [*] ·K/W)					H. III -> ///>		
					(
					mm) 断熱材の熱抵抗値 ¹ (m²·K/W)		
					部位の熱貫流率 ² (W/m²·K)		

(第6面)

- 必須項目 -

Ĺ	性能表示	T호하다 다		設計内容説明欄		設計内容
	事項	確認項目	項目	設計内容	記載図書	確認欄
温	5-1	躯体·開		設計施工指針(附則5)	仕様書	
熱環	断熱等	口部の断 熱性能等	開口部の断熱	・開口部比率の区分	試験成績書	
境	対策等級	熟性能守	性能等	区分(い) 区分(ろ) 区分(は)	平面図	
エ			2	・ 開口部の熱貫流率(U値) (W/m²K)	矩計図	
エネル			付属部材等とは、 紙障子、外付けブ	仕様U値計算U値併用	建具詳細図	
ルギ			紙障丁、外内リフ ラインド等開口部	・ 2%緩和適用(窓のみ対象) あり		
ギーき			に建築的に取り	開口部の日射遮蔽仕様		
消費			付けられるものを いいます。	・ 4%緩和適用(天窓以外の窓のみ対象) あり		
量				建具の種類若しくはその組合せ又は		
に関			3 「ひさし、軒等」	付属部材(2)、ひさし、軒等(3)の設置		
के			オーバーハング			
すること			型の日除けで、 Z Y1×0.3のも			
٤			のをいいます。			
			<u> </u>			
			+			
			Y1			
		/士==72-1	7.334. 6767 - 3 6767 N		// 14	
		結露防止	建栄土等理	判断基準·設計施工指針(本則)·設計施工指針(附則5)	仕様書	
			結路の光主的 止対策	・防湿層(対策の有無と部位を記入してください。)	試験成績書	
			工八八	あり (屋根 天井 外壁 外気に接する床)	平面図	
					矩計図 11等書	
				なし (屋根 天井 外壁 外気に接する床)	計算書	
				() () () () () () () () () ()		
				· 通気層		
				あり(屋根外壁パルコニー)		
				なし (屋根 外壁 バルコニー)		
				,		
				・防風層		
				あり (屋根 外壁)		
				なし (屋根外壁)		
				(
			透湿抵抗比の	75 VT 45 44 4		
			計算により、防湿	· 透湿抵抗比		
			層·通気層·防風 層を省略する場	部位 室内側透湿抵抗R'r 外気側透湿抵抗R'o 透湿抵抗比		
			合は記入して下さ	(m²hmmHg/g) (m²hmmHg/g)		
			ι ١ .			

- 必須項目 - (第7面)

	必須項目 -	1		* 0 * 1 - 1 V 00 100		四 (大)
	性能表示 事項	確認項目	項目	設計内容説明欄 設計内容	記載図書	設計内容 確認欄
温	5-2	地域区分	地域区分	地域	仕様書	THE ALC: INS
	一次		適用する基準	一次エネルギー消費量計算(建築主等判断基準)	仕様書	
境		ルギー消		設計施工指針(附則6)	計算結果表	
Ī	消費量等級	費量		選択した基準に応じて、以下の項目に入力して〈ださい	平面図	
ネル	選択する		_	・次エネルギー消費量計算(建築主等判断基準)	立面図	
ボギー			居室の面積	・合計の床面積		
				・主たる居室 一次エネルギー消費量 ・主たる居室 計算結果表による		
消費量				・その他の居室		
量に			一次エネル ギー消費量	基準一次エネルギー消費量 一次エネルギー消費量		
関			イ ^一 /月貝里	・設計一次エネルギー消費量 計算結果表による		
する				・床面積当たりの一次エネルギー消費量		
ること			÷n /#++// == ^/-	評価書に記載する(等級5の場合のみ)		
-			設備機器等 の仕様	一次エネルギー消費量計算結果表による		
				設計施工指針(附則6)		
			適用条件	・外皮等面積の合計 / 床面積の合計 ()		
				· 外皮性能		
				5-1の等級4の基準に適合(結露発生防止対策を除く)		
				設計施工指針附則5に適合		
			暖房設備	・単位住戸全体を暖房する方式		
			(8地域を除く)	ダクト式セントラル空調機であって、ヒートポンプが熱源		
				・居室のみを暖房する方式		
				1~4地域		
				石油熱源機を用いた温水暖房用パネルラジエー 連続運転 ターであって、JIS S3031に規定する熱効率 が 83.0%以上 かつ、配管に断熱被覆あり		
				間歇運転密閉式石油ストーブ(強制対流式)であって、 JIS S3031に規定する熱効率が 86.0%以上 5 ~ 7地域		
				ガス熱源機を用いた温水暖房用パネルラジエー 連続運転 ターであって、JIS S2112に規定する熱効率が 82.5%以上 かつ、配管に断熱被覆あり		
				ルームコンディショナーであって、JIS B8615-1に 間歇運転 規定する暖房能力を消費電力で除した数値が、 -0.321×暖房能力(KW)+6.16以上		
				定められた仕様と同等以上の評価		
			冷房設備	・単位住戸全体を暖房する方式		
				ダクト式セントラル空調機であって、ヒートポンプが熱源		
				・ 居室のみを暖房する方式		
				ルームコンディショナーであって、JIS B8615-1に 間歇運転 規定する冷房能力を消費電力で除した数値が、 -0.504×冷房能力(KW)+5.88以上		
				定められた仕様と同等以上の評価		
			換気設備	全般換気設備の比消費電力(熱交換換気設備を採用する場合は、比消費電力を有効換気量率で除した値)が、換気回数0.5回以下の場合において0.3(W/(m3/h))以下		
				定められた仕様と同等以上の評価		
			照明設備	非居室に白熱灯を採用しない		
			/人\日 + □ / /+	定められた仕様と同等以下の性能の照明設備を採用しない		
			給湯設備	1 ~ 4地域 石油給湯機であって、JIS S2075に基づ〈モード熱効率が 81.3%以上		
				5~8地域 ガス給湯機であって、JIS S2075に基づ〈モード熱効率が 78.2%以上		
				定められた仕様と同等以上の評価	*****	

-)	进扒坝日 -					_
	性能表示	確認項目		設計内容説明欄		設計内容
	事項	唯心公口	項目	設計内容	記載図書	確認欄
災時の安	2-1 感知警報 装置設置 等級 (白体)	感知警報 装置	感知部分の 設置場所等	・種類 自動火災報知設備等又は同等品 住宅用防災報知設備等又は同等品 住宅用防災警報器等又は同等品 その他()	仕上表 平面図 自火報図 系統図	
全に関すること	(自住戸火災時) 選択する		注)作動·不作動 の種別は、自火 報等の場合のみ 記入	・設置場所 寝室等 種別 (
			警報部分の性能 注)等級4のみ記入	作動(種) 不作動(種) (種) 不作動(種) (・ 設置場所 (
	脱出対策 (火災時) 選択する		バルコニー及 び避難器具	自己評価書に同じ	仕様書 平面図	
	(延焼の恐れ 開口部) 選択する	耐火性能	防火設備の仕 様等(耐火性 能が最も低い もの)	・サッシ種別 (・ガラス種別 (・認定番号等 (・耐火時間 (配置図 仕上表 立面図 建具表	
	耐火等級 (延焼の恐れ		外壁の構造等 注)耐火時間は分	・構造・材料 (屋外)・認定番号等 (回外)・耐火時間 (回外)	配置図 仕上表 矩計図	
	選択する		軒裏の構造等 注)耐火時間は分	・構造・材料 (・認定番号等 (・耐火時間 (矩計図	
			軒裏換気口の 構造等 注)耐火時間は分	・構造・材料 (・認定番号等 (・耐火時間 (矩計図	

<u>- j</u>	選択項目 -					
	性能表示	確認項目		設計内容説明欄		設計内容
	事項	唯心共口	項目	設計内容	記載図書	確認欄
気環境に関	6-1 ホルムアルデヒト 対策(内装及 び天井裏等)	居室の内 装材及び 天井裏等 の下地材	使用する建材 適用除外等	製材等 (製材 丸太 単層フローリング) 特定建材 その他 なし	仕上表 平面図 矩計図	
	選択する	等		あり (箇所)		
すること		ホルムアルデ ヒト発散 等級(特 定建材)	内に建適換の等定のまけの なりな外の天けの なり気なにま材 当等高大けの なりがますの はが表すの はがまずる はで表する はがまずる はである はできます。できまする。できます。できます。できます。できます。できます。できます。できます。できます。できます。できます。できます。できまする。できます。できまする。できます。できまする。できまする。できまする。できまする。できまする。できまする。 </td <td>・ 内装の仕上げに使用する 全ての特定建材のうち、最大のホルムアルデヒド発散量</td> <td>仕上表 使用建築 材面図 矩計</td> <td></td>	・ 内装の仕上げに使用する 全ての特定建材のうち、最大のホルムアルデヒド発散量	仕上表 使用建築 材面図 矩計	
	6-2	居室の換	1千 半五	種類()	仕上表	
	換気対策	気対策	性税 換気対策上の 居室等	・居室等の名称、全体の床面積、平均天井高さ、換気回数 換気計算書による 以下による 名称(床面積 (m2) 平均天井の高さ (m) 設計換気回数 (回/時)	使用建築 材料表 平面図 設備図 換気計算	
			機械換気	・換気方式		
			便所·浴室·	自己評価書に同じ	仕上表	
		対策	台所		平面図	

	選択項目 -		_			
	性能表示	確認項目		設計内容説明欄		設計内容
	事項	唯祕坦日	項目	設計内容	記載図書	確認欄
視環境	半 網用口竿	開口部(単純開口 率)	居室の面積に 対する開口部 の割合	自己評価書に同じ	平面図 計算書 建具表	
に関すること	選択する 7-2 方位別開口 比 選択する	開口部(方位別開 口比)	方位別開口部 の面積合計の 比	自己評価書に同じ		
音環境に関す	等級 (外壁開口		北の方位の サッシ・ドアセット (最低遮音) 該当なし	JIS遮音等級表示品 同等品 T-4 T-3 T-2 T-1 その他 その他試験を行うもの (仕上表 平面図 建具表	
9ること	部) 選択する		東の方位の サッシ・ドアセット (最低遮音) 該当なし	■ JIS遮音等級表示品 同等品 T-4 T-3 T-2 T-1 その他 その他試験を行うもの (
			南の方位の サッシ・ドアセット (最低遮音) 該当なし	JIS遮音等級表示品 同等品 T-4 T-3 T-2 T-1 その他 その他試験を行うもの ()		
77-		() = a di	西の方位の サッシ・ドアセット (最低遮音) 該当なし	■ JIS遮音等級表示品 同等品 ■ T-4 T-3 T-2 T-1 その他 その他試験を行うもの ()	TTD	
犯に関す	対策	入口 (区分a)	開口部の対策	自己評価書に同じ	平面図 立面図 侵入防止 対策チェック	
ること	[各階共通] 選択する	外部から の接近が 比較的日 部 (区分b)		自己評価書に同じ	シ-ト 建具表 仕上表	
		その他の 開口部 (区分t)	開口部の対策	自己評価書に同じ		

	性能表示	攻하다		設計内容説明欄		設計内容
	事項	確認項目	項目	設計内容	記載図書	確認欄
高	9-1	部屋の配	特定寝室と同	· 特定寝室 (仕上表	
齢者等	高齢者等	置等	一階にある室	・特定寝室と同一階にある室	平面図	
等	配慮対策			(
$\hat{}$	等級			・ホームエレベーター なし あり		
の配	(専用部分)			・ホームエレヘーター出入口の幅員 (mm)		
慮		段差	出入口等	・玄関出入口	仕上表	
に	選択する		(日常生活空	くつずりと玄関外側 (mm)	平面図	
関す			間内)	くつずりと玄関土間 (mm)		
á				・玄関の上がりかまち (mm)		
すること				· 浴室出入口		
C				(
				・ バルコニー出入口		
				(
				・畳コーナー等		
				高さ (mm)		
				幅 (mm) ×奥行 (mm)		
				面積 (<mark>m²</mark>)		
				・その他の5mm超の段差		
				勝手口等の出入口及び上がりかまちを除く		
			7 - W (7 44			
			その他(日常	5mm超かつ90mm未満の段差		
			生活空間外)	玄関、勝手口等、浴室、バルコニーの出入口及び上がりかまちを除く		
		階段	勾配等	・けあげ(R) (mm)	仕上表	
		PHFX	기비아	・最小踏面(Tmin) (mm)	平面図	
				· 2 R + Tmin (mm)	矩計図	
		注)階段が		・最大踏面(Tmax) 、 mm)		
		2以上存在		· 2 R + Tmax (mm)		
		する場合		· 幅員 (mm)		
		は、別紙に記入		・勾配(R/Tmin) (<mark>/ /</mark>)		
			蹴込み	・蹴込み寸法 (mm)		
			T/_1: 66	・蹴込み板なり、なり、あり		
			形式等	・階段の形式 (ファイン・クラー 下側ですりのおった		
			曲がり階段は、 全段、踊場が矩形	回り階段の部分において寸法、勾配、両側手すりの規定を 適用しない階段形状を採用		
			土权、 岬场 か 足 か	・最上段の通路等への食い込みなしあり		
				・最下段の通路等への突出なりなりあり		
			滑り止め	・ 踏面と同一面の滑り止め なし あり		
			段鼻	・段鼻の出なり		
		手すり	手すりの設置	・階段の手すり (階段勾配(R/Tmin):	仕上表	
			(日常生活空	両側設置 片側設置	平面図	
			間)	設置高さ (mm)		
				・便所 (立ち座りのためのもの)		
				設置	****	
				注)等級5の場合のみ記人	**************************************	
				浴槽出入 浴室出入 浴槽立ち座り スタカイス カース・カース アン・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	91110 91110 91100 91100	
				変勢保持 洗り場立ち座り たちゅう というしょう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう かいき	*****	
				・玄関 (上がりかまち部の昇降及び靴の着脱のためのもの) 設置 設置可能な下地等	91110 91110 91100 91100	
				・脱衣室 (衣服の着脱のためのもの)	****	
				設置 設置可能な下地等	*****	
				KE THEFT ES		

- 選択項目 - (第2面)

	性能表示	確認項目		設計内容説明欄			設計内容
	事項		項目	設計内容		記載図書	確認欄
高	9-1	手すり	転落防止手す	・バルコニー		仕上表	
齢者	高齢者等		りの設置	腰壁等の高さ(mm)	平面図	
者等	配慮対策			(手すりの達する高さ:	mm)	立面図	
^	等級			腰壁等の高さ(mm)		
の配	(専用部分)			(手すりの達する高さ:	mm)		
慮				・手すり子の内法寸法 (mm)		
に関				・窓(2階) 窓台等の高さ (mm)		
す				(手すりの達する高さ:	mm)		
るこ				窓台等の高さ(mm)		
ے				(手すりの達する高さ:	mm)		
				・手すり子の内法寸法(mm)		
				・窓(3階以上)	·		
				窓台等の高さ(mm)		
				(手すりの達する高さ:	mm)		
					,		
				窓台等の高さ(mm)		
				(手すりの達する高さ:	mm)		
				・手すり子の内法寸法(mm)		
				・廊下(開放されている側)			
				腰壁等の高さ (mm)		
				(手すりの達する高さ:	mm)		
				腰壁等の高さ(mm)		
				(手すりの達する高さ:	mm)		
					,		
				・手すり子の内法寸法(mm)		
				・階段(開放されている側)			
				──腰壁等の高さ ((手すりの達する高さ:	mm)		
				腰壁等の高さ(mm) mm)		
				(手すりの達する高さ:	mm)		
				・手すりのほうも同じ、	mm)		
		通路及び	通路の幅員	・最小有効幅員(mm)	仕上表	
		出入口の		柱等の箇所(mm)	平面図	
		幅員	出入口の幅員	· 玄関 (mm)		
				・浴室出入口 (mm)		
				・玄関浴室出入口以外の出入口(mm)		
				工事を伴わない撤去により対応可			
				軽微な改造により対応可			
			浴室の寸法	・内法の短辺寸法(mm)	仕上表	
		所及び浴		・内法面積(m²)	平面図	
		室(日常	便所の寸法	・短辺方向に確保する寸法			
		生活空間		()		
)		工事を伴わない撤去により対応可			
				軽微な改造により対応可			
		注)等級3		・長辺方向に確保する寸法	,		
		以上の場合)		
		のみ記入		工事を伴わない撤去により対応可			
				軽微な改造により対応可 ・ 便器と壁の間に確保する距離			
					1		
				軽微な改造により対応可)		
				ドア開放により対応可			
				・便器の形式			
				腰掛け式その他			
			特定寝室	・内法面積(m²)		
1			ĺ			**************************************	